

令和2年宮城県高等学校野球大会における新型コロナウイルス感染症対策

宮城県高等学校野球連盟

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症対策の基本となるものは、

- (1) 個人防衛
- (2) 集団防衛
- (3) 社会防衛

の3つの見地から考える必要があり、宮城県をはじめとする各行政・教育委員会との連携を重要視する必要がある。

何よりも高校野球関係者(選手・顧問・審判団)の健康を第一に考え、大会開催にあたっては以下の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを参考に、対策・対応していくこととする。

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(スポーツ庁政策課)
- ・スポーツ関係の新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインについて(同上)
- ・移行期間における都道府県の対応について(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長 事務連絡)
- ・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について(文部科学省)
- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(厚生労働省)
- ・新型コロナウイルス感染症に係る学校再開に向けての Q&A について(宮城県教育庁スポーツ健康課)
- ・新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン(日本高等学校野球連盟)
- ・日本野球機構、日本プロサッカーリーグにおける新型コロナウイルス感染症対策
- ・バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(公益社団法人日本バス協会)
- ・宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン(全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会・日本旅館協会・全日本シティホテル連盟)
- ・新型コロナウイルス感染症対策(各加盟校)

※各ガイドラインについては状況に応じて改定が行われるため、最新のもので対応していく。

2 対策を考える上での重要事項

1) 新型コロナウイルス感染症の感染経路の遮断

- (1) 飛沫感染(咳・くしゃみ・会話による感染)・・・マスクの励行と体温管理
- (2) 接触感染(手で触れることによる感染)・・・濃厚接触状態を避ける(手が届く範囲)
ソーシャルディスタンスの徹底
使用場所・器具の消毒の徹底

2) 新型コロナウイルスの観戦を促進する3要因(3密)を避ける

- (1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触・・・会場の人数制限
- (2) 近距離での咳・くしゃみ・発生・・・会話時間は10分以下(マスク着用)
咳エチケット
- (3) 喚起の悪い密閉空間をつくらない・・・大会本部等の窓の開閉

3) 基本的な予防方法

- (1) 不特定多数の集まる場所に行かない。
- (2) 手洗いの励行。
- (3) 不用意に口・目・鼻に触れない。
- (4) 規則正しい生活を送る。
- (5) バランスの取れた食事をする。

3 高校野球関係者に求められる感染症予防策

高校野球関係者と頻繁に接する方々も同様の対応が必要と考える。特に、家族を含めた対策の徹底が重要となる。

1) 毎日の検温と行動記録(2週間以上記録しておく)

- (1) 体温測定を一日2度(起床時・就寝時)行い、所定用紙に記入する。
- (2) 問診チェック(倦怠感・咳・頭痛・味覚障害など)を行い、所定用紙に記入する。
- (3) 食事や出向いた場所・同行者などの行動記録を取っておく。

2) 手指衛生・手洗いの励行

会場への入退場、ものに触れる機会があった場合、トイレ使用等、消毒用アルコール剤による手指衛生の励行を原則とする。アルコールにより指先等の状態に影響が大きいと考えられる場合には、石鹸による手洗いでも十分な予防効果が期待されている。

3) 試合前、試合中、試合後の行動

別紙掲載。(新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン…宮城県高野連 参照)

4) 感染防止の啓発と意識改革

- (1) 公共交通機関利用の際の防止対策・・・ラッシュ時を避ける等。
- (2) マスクの付け方・外し方・交換のタイミングなどの指導
- (3) 健康状態に変化があった場合に休む勇氣・・・自分は大丈夫という概念を捨てる。

4 高校野球関係者に感染の疑いが出た場合の対応

検温で 37.5° 以上(平熱より 1.5 度以上)の体温があった関係者がいた場合は大会に参加させない。当該校においてはその該当者の行動記録を考慮し、大会参加について判断する。

発熱 37.5° 以上(平熱より 1.5 度以上)が 2 日以上持続した関係者がいた場合はチームと帯同せず、下記のような対応を行う。

- (1) 速やかに医療機関へ連絡し、対応を仰ぐ。
- (2) 濃厚接触者の抽出および集団発生に対するリスク管理を行う。
- (3) 事前に記入している健康チェック表等を医療関係機関等に提出する。
- (4) 医療機関受診の対象者の確認を行う。(本人以外も必要か)

5 高校野球関係者に感染陽性反応が出た場合の対応

大会開催 2 週間前の期間に感染陽性反応が確認された関係者がいる場合、その当該校は参加できない。

大会開催中に感染陽性反応が関係者で確認された段階で、大会は中止とする。

6 高校野球関係者が濃厚接触者となった場合

大会開催 2 週間前の期間に濃厚接触者と確認された関係者がいる場合、その該当者は参加できない。当該校においてはその該当者の行動記録を考慮し、大会参加について判断する。

7 観客の入場について

当面の間、観客の入場を見合わせる。

ただし、報道関係者・NPB 関係者・大学関係者の入場については、本連盟設定の入場制限条件を満たしたものを入場可とする。

また、最上級生の保護者については、加盟校の提出する「入場申請書」をもとに入場を認める。

8 その他

緊急事態宣言発生中、及び、教育委員会等の指示により中止を求められた際は、大会は開催しない。